



女性が活躍する 先進企業事例集

●巻頭インタビュー



経済活性化の鍵は「女性活躍」にあり

株式会社日本総合研究所調査部 主席研究員 ●藻谷浩介氏



～働く女性へのメッセージ～ 女性管理職座談会

住宅部門を新設し 現場監督として女性が活躍

株式会社大藪組



【企業データ】

社 名/株式会社大藪組
住 所/福岡県筑後市長浜2043-1
電話番号/0942-53-2151
URL <http://www.oh-yabu.co.jp/>
業 種/総合建設業
創 業/1890年

【女性活躍データ】

従業員数/46名
男女比/74%:26%
女性管理職数/1名(部長以上)
管理職男女比/83%:17%



「将来は業務の3分の1を女性に」 20年以上前に社長が方針を打ち出す

筑後市で明治23年に創業した『大藪組』は、地元建設業界の老舗的な存在。創業100周年事業として1992年に完成したモダンな本社屋(写真右上)に、同社の特徴が表れている。全社員が構想段階から関わり、機能性や効率性を追求。社員のためのフィットネスルームや和室を備えた点に、人を大切にするという姿勢がうかがえる。また、地域貢献を目的に、会議室やホールは常時、地域の人たちに開放している。さらに同社の展望を象徴するものとして、女性用のトイレとシャワー室がある。以前、女性社員は1割で総務のみだったが、「これからは女性の意見を取り入れた住宅が受け入れられる時代。将来は業務の3分の1を女性に任せたい」という先代の社長の思いが込められている。

中途採用の女性社員を 3年半後に営業部長に

1995年から、従来の土木・建築業に加えて、新しい事業に次々と参入。戸建住宅、リフォーム、不動産事業の3部門を立ち上げた。「住宅に関しては女性がイニシアティブをとることが多い。生活者目線で話せる女性同士なら打ち合わせがスムーズに進み、話も盛り上がる。女性でよかったという声も多く寄せられ、順調に業績を伸ばしています」と取締役の小川さんは語る。

不動産部門の立ち上げに際しては、経理担当だった女性の宅地建物取引主任者の資格取得をバックアップし、部長に任命した。また、途中で採用した営業の女性を、入社3年半で営業部長に抜擢した。資格を身に付けたい社

女性活用ポイント

1. 女性が活躍できるための施設を整備

23年前に新しい社屋を建築するとき、女性が活躍できる職場づくりを進めるため、女性用のトイレとシャワー室を備えた。その後、技術系の女性社員を採用するようになり、女性社員の比率も上がっている。

2. 女性の力が必要とされる3部門を新設

10年以上前から女性が現場監督として活躍する同社。戸建住宅やリフォーム・不動産などの新事業へ女性を積極的に登用し、業績を拡大している。

株式会社大藪組

常務取締役 小川 海志郎さん



員には、交通費や授業料を会社で負担して、専門学校へ通う制度もある。

現在、女性は事務・営業7名と技術5名で、女性比率はこの20年で2.6倍になった。子育て中の女性が2名おり、県の「子育て応援宣言企業」登録もしている。「今後も性別に関係なく仕事のできる人を採用し、管理職に引き上げたい。将来、取締役会にも女性が入れば、会社がより活性化する」と期待も大きい。

女性社員から



全く別の業種で働いていましたが、「建築の仕事をしたい」と思い、専門学校へ通って二級建築士などの資格を取りました。専門学校で女性は1割ほどでした。現場で働きたくて就職先を探していたとき、弊社のホームページで現場の写真に女性が載っているのを見て、志望しました。事務だけでなく、営業と技術系にも女性がいて、男女の区別なく、のびのびと仕事をさせてもらえるので働きやすいです。

建築部 すまい担当

松尾 恵理子さん